



只見町ブナセンターだより

<季節のごあいさつ>

強い寒波の影響で只見町では積雪深 3m近くになるほどの大雪となりました。まだまだ寒い日は続きますが、様々な行事を用意しておりますので、みなさまのご来館を心よりお待ちしております。

===== 開催中 =====

【企画展】守りたい！只見の野生動植物

－只見町の野生動植物を保護する条例

会期：開催中 ～ 2018年6月25日（月）

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

2016年6月に「只見町の野生動植物を保護する条例」が施行されました。この条例は、町、町民、事業者および来町者が一体となって自然環境と野生動植物の保護・保全に取り組み、その保護・保全と天然資源の持続可能な利活用による地域の発展を目指すことを目的としています。この企画展は、この条例の内容とその役割、地域の野生動植物を保護・保全することの重要性とを理解していただき、町内における保護・保全への取り組みにより多くの方に協力いただくことを目的として開催するものです。

企画展では、第1部として、只見町の自然環境・野生動植物とそれらを基盤とした地域住民の生活文化の現状を概観し、この条例の制定に至る町の自然保護の道のりについて説明します。第2部では、只見町の野生動植物の存続に危機をもたらす要因を具体例とともに紹介し、その保護・保全のために関係者が配慮すべき項目について説明します。第3部では、この条例の役割や制定の背景、目的、内容などについて解説します。第4部では、町内に生育・生息する動植物のうち、特に保護が必要とされる絶滅危惧種や「町指定貴重野生動植物」を紹介します。他に、野生動植物や外来種など関係する動植物の標本、条例周知用の横断幕、関連書籍などを展示しています。ぜひ、ご来場ください。



▲ 会場の様子。
標本も展示しています。

===== 今後の予定 =====

【只見ユネスコエコパーク特別セミナー】

多雪環境のもとで生きる樹木の苦闘と強かさ

したた

講師 杉田 久志 氏 (雪森研究所、富山県立カルデラ砂防博物館アドバイザー)

- 内容
1. 積雪が植物に及ぼす影響
 2. 多雪地と小雪地とのブナ林のちがいとその成因
 3. 浅草岳のブナ林の話

日程：2018年3月4日(日) 13:00~15:00

場所：只見振興センター 2階学習室

(只見町大字只見字宮前 1390)

参加費：無料(どなたでも聴講できます)



【自然観察会】

冬のブナ林と動物たち

スノーシューやかんじきを履いて、数メートルの積雪の上を歩き、雪に閉ざされた環境でブナをはじめとした植物がどのように越冬しているのかを観察します。また、野鳥の観察やけもの足跡探しをします。日本有数の豪雪地帯、只見町の雪を体験しましょう！

日時：2018年3月18日(日) 10:00~12:00

集合：ただみ・ブナと川のミュージアム 9:30 集合

観察場所：ただみ観察の森『下福井のブナ水源林』

参加費：高校生以上 500 円、小中学生 400 円 (保険料を含む)

持ち物と装備：防寒具、長靴、飲み物、スノーシューまたはかんじき、
双眼鏡、必要な方はサングラス

※スノーシューもしくはかんじき、双眼鏡をお持ちでない方は申し込み時にお伝えください。

※天候により中止することがあります。

定員：20名(事前予約制)

※自然観察会への参加申込、お問い合わせは只見町ブナセンターまでご連絡ください。

☎0241-72-8355



【寄贈図書】 2017年1月～12月

以下の通り図書を寄贈いただきました。ご寄贈くださった方々に感謝申し上げます。

会津生物同好会（会津生物同好会誌No.55）・稲葉修さん（被災地の海を生きる／新茨城風土記／エゴ農業とちぎカタログ）・加藤実咲さん（只見のブナ林の実生調査と土壌研究 葉っぱの贈り物 Part 3）・齋藤貴之さん（存続する編み組細工―福島県只見町での「自的な保護」による事例を通して）・只見町教育委員会（おもしろ只見学ガイドブック改訂版／只見の自慢カルタ）・清水恒吉さん（地域貨幣および古南鐐二朱銀判の分類並びに真贋に関する研究）・高原豊さん（只見川流域の植生（昭和56年）福島県自然公園大会資料）・只見町観光まちづくり協会（只見登山ガイド）・西田治文さん（植物のたどってきた道／温暖化と生物多様性／みいちゃん けんちゃん じゅんちゃん と おばあちゃん／新時代の自然環境保全／植物化石5億年の記憶／Conserving Nature - A Japanese Perspective／日本の植物保全―世界植物保存戦略への日本の対応／日本の植物保全―世界植物保存戦略への日本の対応・第10回生物多様性条約締約国会合採択決議. 決議 X/17.世界植物保全戦略2011年～2020年の全面改訂／日本の植物保全―2010年目標の成果と2020年目標に向けての対応／減災（災害リスク軽減）のための環境の手引き／日本文化と生物多様性）・みなかみBR（みなかみ町の自然とくらし／みなかみ町の自然とくらし（小中学生向け概要版））



【只見町ブナセンター 2017年度の行事案内】

開催期間	行事名
開催中 ～ 2018年6月25日（月）	【企画展】 「守りたい！只見の野生動植物―只見町の野生動植物を保護する条例」
3月4日（日）	【只見ユネスコエコパーク特別セミナー】 「多雪環境のもとで生きる樹木の苦闘と強かさ」
3月18日（日）	【自然観察会】「冬のブナ林と動物たち」
3月31日（土）	【ブナセンター講座】 「野生動植物を守るために―生物多様性保全の科学と社会学」

<編集後記>初めての只見の冬を経験し、豪雪地帯という言葉を実感しました。雪堀（ゆきほり）は大変ですし寒くて震える日もありますが、雪化粧の山々の美しさや雪の上を歩く楽しさ、動物の足跡を発見した時のワクワク感などを楽しみながら過ごしています。（山本）



発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地

電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」、「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前9時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

